

「子どもがつくる 一人一人の子どもが伸びる みんなの学校」

～ 吉井小学校（イノベーションスクール）の7つの魅力～

1 日々の授業で問いを発する子どもを育てます。（子どもが前のめりになる）

- ◇受動学習から問題解決学習への転換
- ◇子どもから発せられた問いから、対話を通して問題解決していくプロセスを重視し、深く考える力を育成します。

2 様々な活動を子ども主体の学びへと転換します。（子どもをお客さんにしない）

- ◇活動を子どもの視点で見直し、それぞれの活動を子ども自らで計画・実行・振り返りできるよう工夫していきます。
- ◇活動しているプロセスの中の子どもの思考や意識の変容を重視します。
- ◇子どもたち一人一人が主体的に活動できるようにします。

3 子どもたちが学び続ける楽しさ・喜びを実感できる探究的な学習を展開します。（子どもが没頭する）

- ◇1コマ45分授業を40分授業に移行していきます。
- ◇生み出された時間を探究的な学びに活用します。
- ◇子どもたち一人一人が学びにのめり込むプロセスを通して、探究する学びを存分に楽しんでいきます。

4 プロフェッショナルな教職員により、これからの時代に順応した、授業実践するとともに、しなやかできめ細やかな支援を子どもたち一人一人に行います。（教師は子どもの学びの伴走者になる）

- ◇学校独自の授業研究に取り組みます。
- ◇徹底した子ども理解に基づき、全教職員で子どもたちの豊かな学びの推進に努めます。

5 子ども中心に、これからの時代に求められる小学校にします。（子どもがデザインしていく学校をつくる）

- ◇既存概念や常識にとらわれない、大胆かつ独創的なアイデアにより、子ども主体の学校改革を進めます。
- ◇より良い公立小学校教育の実践校として、オンリーワンのリーディングスクールをめざします。

6 学びの場を学校から、ローカルさらにグローバルにダイナミックに展開します。（グローバルな視点による学びを展開する）

- ◇地域社会にある課題等を見出し、その課題解決に向け活動したり、子どもたちの身近な興味関心のある物事について調査研究したりします。
- ◇地域素材等（ひと・もの・こと）を生かした体験活動を通じて、単に体験にとどまることのないよう、カリキュラムをマネジメントし、主体的、協働的な学びへとつなげていきます。（歴史学習・理工系学習・国際交流等の推進）

7 隣接した絶好の立地条件を生かし、充実した幼小連携に取り組み、連続性のあるきめ細やかな教育を推進します。（「遊びこむ」から「学びに没頭する」子どもの姿を応援します）

- ◇幼児期に身につけた力を生かし、スタートカリキュラムを通して、スムーズに小学校生活に順応できるよう、一人一人の状況に応じた支援をしていきます。